

# GALLERY SEKI RYU

ギャラリー 石 榴

神谷 信子 Nobuko Kamiya

- 1914年 香川県善通寺町に宮脇長吉の三女として生まれる
- 1927年 東京都渋谷区に一家で転居
- 1932年 実践女学校卒業、東洋大学国文科の聴講生となる
- 1940年 東京都府立第10高等女学校の教諭となり、国文を教える傍ら、駿河台洋画研究所で東郷青児に師事して絵を学んだ
- 1943年 浅草の有名な神谷バー「神谷酒造」の4男、神谷六彌と結婚するが、夫は1944年に召集され、戦病死
- 1946年 絵を描き始める。二科九室会の画家、広幡憲に師事して心酔し、久我山の家で同棲する
- 1948年 広幡が不慮の鉄道事故死を遂げる。日本アヴァンギャルド美術家クラブの結成に参加
- 1949年 阿部展也、斎藤義重に誘われて美術文化協会に参加、会員となる
- 1952年 美術文化協会を退会  
タケミヤ画廊で個展を開催
- 1953年 国際アートクラブの結成に参加
- 1953-54年 東京国立近代美術館「抽象と幻想〈非写実絵画をどう理解するか〉」展に作品を出品
- 1968年 ニューヨークに渡り、制作のかたわら東洋美術品の修復に携わる
- 1983年 病を得て帰国
- 1986年 病状が悪化して死去

## ■ 主な個展

- 2000年 「回顧 神谷信子の世界」 秀友画廊、東京
- 1954年 「個展」 養精堂画廊、東京（1955,57年にも出品）

1952年「個展」タケミヤ画廊、東京

■ 主なグループ展

2005年「前衛の女性 1950-1975」栃木県立美術館、栃木

1953-54年「抽象と幻想〈非写実絵画をどう理解するか〉」国立近代美術館／東京国立近代美術館（旧館）、東京

1952年「近代絵画の回顧と展望」展 東京国立近代美術館、東京

1951年「女流画家協会アンデパンダン展」

1950年「第4回美術団体連合展」（1951年にも出品）

1947年「独立展」（1948年にも出品）